

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	地域包括支援センター設置事業	コード	02-01-05-09	担当課係	介護保険課 地域包括支援センター
事業実施期間		担当者	大西武志	電話	64-1844
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	介護保険			
	施策	地域支援事業の展開			

事業について	
目的	平成18年度設置の地域包括支援センターの設置準備および運営を行う。
対象 (誰のために)	おおむね65歳以上の要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族等
内容	地域包括支援センター及びサブセンターの機器、備品等の整備及び人員の適正な配置。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
システム導入	1 式		
公用車購入	2 台		
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費
	10,922 人件費 192 合計 11,114	1,000 市債 10,114	0 市債 0
必要人員	0.20 人		
結果指標①	結果指標名	地域包括支援システム	
	結果指標量	1	
	単位	式	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	9,729 円	
	単位当たりコスト①	597 円	
結果指標②	結果指標名	公用車	
	結果指標量	2	
	単位	台	
	対前年比	—	0.00%
	事業費	1,193 円	
	単位当たりコスト②	597 円	

事業の成果			
成果指標名	地域包括支援センター支援システム導入	式又は説明	地域包括支援センター支援システム1式 (予算11,440千円)
成果指標量	17年度 9,729		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	9,724千円	到達目標年度	17年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：介護保険法	課題認識 平成18年4月設置の地域包括支援センターの事業を、スムーズに開始するためのシステムを導入したもので、今後の事業への活用が待たれる。また、新設サブセンターへの公用車の配置により、担当地区の高齢者宅の訪問等が迅速に行える。
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	介護予防プランの作成等、新予防給付事務の効率化、相談業務、特定高齢者把握など、データベース化、集計業務などが効率的に行える。また、サブセンターへの公用車の配置により、効率的に訪問できる。
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業は開始されたばかりであり、今後の利用について検討していくが、職員研修を行いながら活用を図っていく。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	地域包括支援システム、公用車とも予算額を大きく下回り、購入できた。地域包括支援センターは、18年4月に設置しており、システムの良否については、今後の活用と、カスタマイズにより判断される。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度 結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果